



合志市 議会だより

2014年12月定例会

きずな

第36号

夢が
かないますように
(上庄のこくんぞさん)

主な
内容

一般会計補正予算

1億8,761万円 を追加
総額 185億2,719万円

議員報酬引き上げ可決!

新成人に聞きました!

一般質問

8人の議員が市政について質問しました

インターネットでも議会の様子をご覧いただけます

一般会計補正予算

1億8,761万円 を追加
総額 185億2,719万円

歳出の主なもの

● 自立支援給付事業
.....7,619万円



障害者福祉サービスや車イス等の補装具等の受給者・利用者が増えたための追加費用

● 私立幼稚園就園奨励事業
.....4,247万円



対象となる児童数が増えたことと第2子に対する補助額が上がったことによる追加費用

● 市道改良事業
.....400万円



熊本電鉄須屋駅北側線路沿いの市道にガードレールを設置するための測量・設計費用

● 防犯カメラ設置補助金
.....210万円



防犯活動を行う団体を対象に防犯カメラを設置するための補助金

● 就学援助費.....871万円

親の収入減少により援助を必要とする小・中学生の増加と消費税が上がったことによる追加費用

● 部活動各種大会等出場補助金.....431万円

本年は部活動の大会での成績が優秀で、県大会・九州大会・全国大会への出場が増えたための追加費用

12月定例会は、12月2日(火)から18日(木)までの17日間の会期で開きました。
条例改正、補正予算など市長提出議案等17件、請願5件のほか議員提出議案3件を審査しました。
なお、条例改正については、職員の給与に関する条例、議員報酬に関する条例ほか2件です。

議決結果は、市長提出議案等17件が原案どおり承認・可決、および報告終了、請願は2件採択、2件不採択、1件継続審査、議員提出議案は3件可決となりました。
一般質問は、8人が市政に関する問題を質問しました。
今定例会には、延べ84人の方々が傍聴に訪れました。

平成26年第4回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
12	2	火	本会議	市長提出議案上程及び説明
	8	月	本会議	質疑、委員会付託
	9	火	常任委員会	付託事件の審査
	10	水		
	15	月	本会議	一般質問
	16	火		
18	木	本会議	委員会報告(質疑、討論、表決) 議員提出議案(上程、質疑、討論、表決)	

議員報酬引き上げ可決!

議会議員の報酬月額

	改定額	現行額
議長	440,000円	388,000円
副議長	390,000円	330,000円
委員長	380,000円	322,000円
議員	370,000円	305,000円

議員報酬の改正は、市長が特別職等報酬審議会に諮問、その答申を受け、今議会に提案したものです。

採決の結果については次ページをご覧ください。

賛成討論のポイント

○現在の議員報酬は、県下14市中、議長が11位、副議長12位、議員13位である。審議会では、前回選挙では無投票であったこと、若い人や子育て中の女性等の積極的な政治参加、合志市の総合的な発展のためになるということ、改正の答申をいただいた。

○市民の負託を受け、住民の代表として政策を実現し、市の発展、住民の利益のために活動する

反対討論のポイント

○審議会の答申にある、定数削減をすれば報酬を加算することを認めるという付帯意見に同意できない。市民にとって身近に議員がいることは、直接意見を伝えることができ、また相談をすることも手軽にできる。議員数が減れば、住民のさまざまな声が届きにくくなる。

○答申に議会議員選挙が無投票にしてはならないとあるが、報酬の高い県議選でも無投票のと

るもので、金銭的な報酬がすべてではないが、地方的な時代の時代には、ますます議会議員の果たす役割が重要となる中、市議会に有能な人材を迎え、活動の専門性を高めるための報酬である。

○市民の中から選ばれた委員による審議会での十分検討され答申されたものに基づき提案されたものである。審議会では、県下14市や九州管内の類似団体と比較した結果で、平均的な額である。これは人事院勧告と同じように、今回は引き上げだが、引き下げられることもある。

○地方の脆弱な経済基盤の中、

ころはある。反対に報酬が低くても候補者が多い選挙区もある。

○市長は議会の調査能力の向上、行動範囲を広げていただきたいと言われるが、それなら全額領収書添付を義務付け、公開する政務活動費として支給した方が、個々の議員の活動もよく見えるようになる。

○今回の報酬引き上げについては、市民の合意を得ていないだけではなく、疑問と批判、怒りの声が上がっている。国保税や、介護保険料の値上げを決めておきながら、自らの報酬を引き上げることは、市民の理解を得ら

厳しい財政運営が予想され、国からは地方活性化が求められている。まちづくりを進める上で能力確保として、議会の調査能力の向上のため議員の行動範囲を広げ、議会の活性化を図り、地域の発展を進める原動力の一翼を担ってほしいという提案だ。

○健康都市こうし実現に向けて従前のチエック機能だけでなく、政策提言まで踏み込んだ議会の姿になってほしい。そのためには若い人の進出も望まれる。それを可能にする待遇を織り込んだものである。

れない。議員報酬と引き換えに定数を削減、民意を削減したとの批判を免れない。その予算を市民の負担の軽減にこそ使うべきである。

○審議会への諮問が報酬についてだけなので、九州あるいは、熊本県内の各市との比較だけでなく、議会活性化調査研究特別委員会が審議会に求めた「議員報酬とは何か」それを決める上での基準、積算根拠について審議すべきだった。生活費であるのか、活動費なのか等の議論が必要である。

議員提出議案

・国会に憲法改正の早期実現を求める意見書の提出

憲法改正案を早期に作成し、国民が判断できる機会(国民投票)を実現することを求める意見書

可決

・「農協改革」に関する意見書の提出

JAGグループの自己改革内容を十分尊重した上で、国会での審議が行われるよう求める意見書

可決

・ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

ウイルス性肝炎疾患で苦しんでいる患者の方々の救済を求める意見書

可決

請

願

憲法改正の早期実現を求める意見書提出についての請願

請願者 日本会議熊本合志支部 支部長

岩元 克雄

採択

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願

請願者 全国B型肝炎熊本訴訟弁護団

団長 弁護士 内川 寛

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願書

請願者 熊本県医療労働組合連合会

執行委員長 田中 直光

増大する医療費に対し、医療保険制度の維持・存続を第一に考えなくてはならないため

不採択

介護従事者の処遇改善を求める請願書

請願者 熊本県医療労働組合連合会

執行委員長 田中 直光

年々増大する介護に係る費用に対し、介護保険制度の維持・存続を優先して考えなくてはならないため

不採択

子どもの医療費無料化拡大を要望する請願

請願者 合志市の子どもの医療費無料化をすすめる会

世話人 坂本 茂子

中学3年生までの医療費無料化は、安易に他市町に追従するのではなく、合志市における子どもに関する総合的支援の観点から研究して行うべきであるため

継続

採択

総務常任委員会

委員長 吉永 健 副委員長 東 孝
委員 島田 敏 委員 来海 恵
委員 坂本 武 委員 濱元 幸
委員 西 隆

合志市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

(総務課)

問 市民の意見を聞く機会を設けたのか。

答 特別職の報酬については、市政施行後も1度特別職の報酬等審議会を組織し、住民代表や市内公共団体の中から委員を選任し議論いただいた経緯もあり、今回も同様の審議会を組織し慎重に検討した結果である。

問 報酬を引き上げた場合、市予算に対し割合は。

答 議員報酬の占める割合は、26年度当初で算出した場合、約0.6%に相当する。

【反対討論】 今回の引き上げは、市民の合意を得ていない大幅な引き上げであり、財政の厳しさを理由に税や介護保険料の値上げ等、市民に負担増を押しつけた中で引き上げには反対。また、報酬等審議会の付帯意見として、定数削減での増額に沿う形での提案にも反対。

【賛成討論】 定数削減と報酬は、別である。定数については、議員発議で提案し可決された。また、若い方々が政治に参加できる環境を整備することも我々の責務である。あわせて、市議会として、政策提言、

立案をする事が市の発展に必要と考える。そのためにも、多くの人材が市政に参加する意欲を持てる環境を作るとい意味でも報酬の引き上げは必要。

平成26年度合志市一般会計補正予算(第6号)

(財政課)

問 公債費について、利子の変動は理解できるが、元金増の理由と、公債費の元利均等と元金均等の割合は。

答 利率の見直しにより、利率が下がったため利子が減額となった。元利均等払いのため、利子が少なくなり元金の割合が増えたためである。過去の政府資金は元利均等が多く、最近の特例債等は、民間金融機関の元金均等が優位であり多い。

(総務課)

問 防犯対策(防犯カメラ)について、地区の要望通り設置となったか。また、次年度も継続するのか。

答 県の補助要項に合わせ、市の補助要項を制定し、全ての行政区に照会をかけ、今回は、要望全てが対象となった。次年度以降は不透明である。今回は、県内での申請が、本市のみであり要望通りとなったが、次年度は、他市町村からの要望

も多いと思われるので、現状では、分からない。



防犯パトロール車

(環境衛生課)

問 野犬対策について、過去には、子牛等が野犬に噛まれる等の被害が発生した経緯があるが、現在もあるのか。

答 以前は、家畜等への被害があったが、現在そのような事例は無い。家庭で飼われている犬が逃げ出し、住民が保護している犬を引き取りに行き、その後の処置等に係わる経費である。

請願第3号 憲法改正の早期実現を求める意見書提出についての請願

意見として、「請願内容は、憲法改正を願意としているが、具体的に何をどう改正するのかという趣旨が見えない。」また、「具体的な条項よりも、現実と乖離している状

況か否かを議論の対象として国会で議論し、国民が判断できる機会が必要とする主旨と捉える。」等、多くの意見が出されました。

【反対討論】 日本国憲法は、恒久の平和主義、国民主権、基本的人権の尊重を最大原則とした日本の最高法規である。世界の国々から日本の平和主義が高く評価されている。現憲法を守りこれを生かしていくことが大切であり、趣旨が曖昧で、具体性に欠ける本請願に反対である。

【賛成討論】 この請願の趣旨は、一定の項目を指したのではなく、現憲法が、GHQ占領下に英文で作成し日本語に訳されたもので、1947年に施行された。国会で承認を得た当時の日本は、敗戦直後の戦争状態であり、1952年に主権回復したが、それ以前に施行され、今日に至っている事が一番の議論の対象である。日本国憲法第96条には、改正条項があるが、現憲法はその手続きは行われていない。主権回復後、1度でもこの手続きが行われていればこのような問題にはならないと考える。よって、各政党それぞれの素案を提示し議論した上で、国民に信を問う必要はあると考えるため採択すべき。

健康福祉常任委員会

委員長 木村 祐一 副委員長 丸内三千代
委員 神田 公一 委員 尾方 洋直
委員 後藤 修一 委員 松本 龍一

文教経済常任委員会

委員長 青木 照美 副委員長 松井美津子 委員 今村 直登
委員 木場田孝幸 委員 濱口 正暁 委員 坂本 早苗
委員 上田 欣也

平成26年度合志市一般会計補正予算(第6号)

(学校教育課)

問 小学校の備品購入については入札か。また学校ごとに行うのか。

答 学校教育課で学校ごとの必要数を取りまとめ、財政課で一括して入札する。

(生涯学習課)

問 トレーニングインストラクターの報酬は安すぎないか。

答 インストラクターの報酬については、市担当部局で検討している。(農業委員会)

問 耕作放棄地解消緊急対策事業

平成26年度合志市一般会計補正予算(第6号)

(福祉課)

問 児童発達支援・放課後等デイサービス給付について現状は。また、受け入れ体制はできているか。

答 4月初旬は月240件程度の利用が、9月は300件程度になった。内容は、児童発達支援が75件から85件程度、放課後等デイサービスは90件が130件程度、相談支援は60件が80件程度に伸びている。受け入れ体制は足りている。

(子育て支援課)

問 債務負担行為補正について、平

補助金で取り組んだ事業は、今回が初めてか。

答 平成25年度は、国庫補助事業により5筆、84アールで取り組んだ。補助事業は国と県があり、今回は事業者の都合により県補助事業となった。規模は1筆の40アールである。

(農政課)

問 稼げる竹林整備推進事業補助金の内容は。

答 3戸以上で構成された任意団体で行う竹林整備事業に対して、全体事業費の二分の一が補助される。ただし、事業後3年間以上継続

成28年度までの合志南小学童クラブプレハブ室のレンタル費用とのことだが、その後はどうなるか。

答 27年度に教室を増築するが、その中で学童用に2教室増築し、学童用は多目的教室の2教室と合わせ4教室となる。



東小学童クラブ2階建て

(健康づくり推進課)

問 消費期限切れ子宮頸がんワクチン損失補償51,000円は、国

してタケノコ生産を行うという制約がある。

(上下水道課)

問 マンホール改良工事90カ所分については、国、県、市道の改良工事に伴うことによる工事費との説明だが、新規の追加なのか。

答 当初から予定された工事に伴うものではなく、追加補正された工事に伴う追加分である。

合志市道路線の廃止

問 道路認定していた民地については、今後も道路として使用できるのか。また今後補修等が必要なものか。

からの接種勧奨差し控えによる影響だが、国からの損失補償は今後どうされるか。

答 この損失補償は、同事例はないか県に確認したが無かった。定期接種ということで市独自の判断で行った。再度、全国的に同事例がないか。また、あった場合の対応を県に確認したい。

請願第5号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願書

【反対討論】 国の借金が1千兆円超、消費税2%増税も見送られ、この社会保障費は大きく膨れ上がると

ときはどちらですか。

答 道路は今までどおり通行可能であり、補修等については、所有者個人になる。



マンホール改良工事分資材

推測される中、まったく財源の裏付けがないので反対。

【賛成討論】 現状として医療現場体制も含め充実させることは大事であり賛成。

請願第6号 介護従事者の処遇改善を求める請願書

【反対討論】 処遇改善の費用は、保険料や利用料に転嫁せず、国費で行うこととした部分は、検討するところがあり反対。

【賛成討論】 介護従事者の平均賃金が安い現状で、人が集まりにくい状況にある。処遇改善を含め、国を挙げて進めるべきであり賛成。

総務常任委員会

平成26年9月29～30日 福岡県太宰府市・大野城市

【視察委員】 委員長 吉永 健司 副委員長 東 孝助
委員 島田 敏春 委員 来海 恵子
委員 坂本 武人 委員 濱元 幸一郎
委員 西 隆博

9月29日 福岡県太宰府市 市民遺産の取り組み

太宰府市は、太宰府天満宮をはじめ、特別史跡や名所旧跡が多く点在する九州屈指の観光地であり、平成17年には九州国立博物館も開設され、年間700万人を超す観光客でにぎわう活気ある市です。市北部には水城跡、大野城跡、太宰府跡と3カ所の国特別史跡があり、その他にも多くの有形、無形文化財が無数に点在する地域です。これらの歴史、文化を守るため、また、多くの観光客が一部に集中する現状から、市内全体の史跡を観光資源として確立するために、市民遺産活用推進計画を策定、その後、景観と市民遺産を守り育てる条例を施行されていきました。また、「太宰府市市民のお宝」を発見・見守るためのポランテアによる文化財調査も行われており、市民遺産が地域活性化に繋がる取り組みとなっています。



太宰府市

9月30日 福岡県大野城市 窓口改革の取り組み

大野城市は、福岡市の南東に位置し交通アクセスの良さからベッドタウンとして成長を続けています。窓口改革は、平成17年に当選した市長の公約に掲げられ、トッパウンでのスタートとなり、平

成18年に「週末窓口サービス」、19年には、コールセンターを開設され、平成20年には、福岡県の補助事業「福祉のまちづくり支援事業」の認定を受け、市役所を訪れた市民がいくつもの窓口を移動して行っていた手続きを、一つの窓口で終わらせるワンストップサービスを実現するための総合窓口「まどかフロア」が開設されました。また、その業務の多くを民間委託されており、証明書等は、自動で発行する事ができる「しょうめい君」という機械も導入されていきました。

本市にも歴史と伝統ある行事や史跡があり、これを活用して市民が参加し市域が一体となり地域活性化のため、大いに活用すべきと感じました。また、国の計画する補助事業を見据え、活用し文化財の発掘、保存を行い市の観光行政拡大につなげて行けるならと感じました。

窓口改革についても、現状の2庁舎、2支所体制である本市において、その在り方を考える部分も多く感じられました。市民の負担を考慮すれば、現状でも解消できる部分も多く、市民ニーズに応じた導入の必要性を強く感じる研修となりました。



大野城市

健康福祉常任委員会

平成26年10月2～3日 福岡県直方市・春日市

【視察委員】 委員長 木村 祐一 副委員長 丸内三千代
委員 神田 公一 委員 尾方 洋直
委員 後藤 修一 委員 松本 龍一

10月2日 福岡県直方市 健康づくりの取り組み

直方市は、人口58,100人、高齢化率29.1%の自治体でありました。今回研修した「のおがた元気ポイント事業」は、高齢化率が高く介護認定率が高い中において、簡素な制度で地域住民の自主性に任せるということで考えられた制度でありました。

概要としては、健診の受診および市主催の介護予防事業や地域で自主的に実施する介護予防や健康に関する活動への参加に対してポイントを付与し、商品券と交換できる制度でありました。直方市に住居登録している65歳以上の人が対象で、個人で登録を行いポイントを得る個人登録と、5人以上で団体登録を行い、ポイントを得る団体登録がありました。地域住民の自主性がらなる健康づくりに取り組み直方市の制度には、大変参考になることができました。



直方市

10月3日 福岡県春日市 子育て支援等について

春日市は、九州内での人口密度が那覇市に次いで2番目に高く、

平均年齢36.6歳と若い人の多いまちであった。認可保育所10力所で1,670人の定員に対して、毎年度4月平均待機児童数は20人前後とのことでありました。

待機児童対策としては、まず定員枠の拡大から私立の誘致や公立の増築を図り、平成15年4月以降で470人の増(40%)となっていました。なお、保育士確保が難しい中、公設公営保育所における0-1歳児の嘱託保育士(4人)の雇用増が図られていました。今後、1カ所ある認定こども園(地方裁量型)の認可保育所化や耐震診断を踏まえた公立保育所2カ所の増床建て替えが計画されています。子ども・子育て支援事業計画策定については、子ども・子育て会議の委員13人の意見も聞き、表現などを工夫し、独自調査項目を追加調整され行われていました。二一調査に基づくその他の施策として、一時預かりの拡充や、福岡徳洲会病院の建て替えを機に、院内に病児病後児ケア施設が開設予定です。



春日市

議会広報調査特別委員会

【視察委員】

委員長
委員
委員

島田 敏春
上田 欣也
松本 龍一

副委員長 今村 直登
委員 後藤 修一
委員 西島 隆博

平成26年10月6～7日 福岡県福津市・佐賀県神崎市



福津市

議会広報編集方針等について
10月6日 福岡県福津市

福津市は、平成17年福岡市と津屋崎町の合併によってできた市で、面積約52・8㎢、人口約5万8,000人で、福岡市および北九州市に近接しており、交通の利便性も良く、通勤、通学にも便利で活気のある地域でした。広報委員会は、3常任委員会から各2名の6名で構成されており、写真の活用やわかりやすくを目標に行政用語をできるだけ排除し、誰にでもわかる言葉を使うなど心がけておられました。さらに今年8月号からは「がんばる人」の連載を始めており、初回は「みらいを育む人」、次回は「明日にはばたく人」ということで企画されています。



神崎市

10月7日 佐賀県神崎市
神崎市は、平成18年神崎市、千代田町、脊振村の合併によってできた市で、面積約125㎢、人口約3万2,600人で、佐賀市と隣接しており、交通の便も良く、住み良い地域のようでした。
広報委員会は、6名で構成されており、写真を多く活用してわかりやすくすることや一般質問は、なるべく修正を行わず、誤字、脱字の手エックだけということでした。特徴としては、Q&Aを多くして市民目線でわかりやすくということでありました。さらに「これが聞きたいコーナー」等も企画されていました。

所感
広報紙が市民にわかりやすく、いかに読んでもらえるかに努力研究されていました。参考になったことを十分に検討しながら取り組んでいきたいと思えます。

議会 Q&A

Q

議会の役割について?

(請願・陳情とは)

A

市政等について要望があるときは、誰でも市議会に対して請願・陳情をすることができます。

1. 議員の紹介があるものを請願、紹介のないものを陳情とします。

2. 請願・陳情はいつでも市議会事務局で受け付けています。

3. 請願・陳情の形式と手続き

○請願・陳情書には、請願・陳情の趣旨、提出年月日、請願・陳情者(法人や任意団体の場合には名称及び代表者の氏名)の住所・氏名を記載し、押印をしてください。

○請願の場合は、紹介議員の署名又は記名押印が必要になります。なお、紹介議員は1人でも結構です。

○請願・陳情の趣旨(願意・理由)は、できるだけ具体的に、また簡明に記載してください。なお、採択された際に国、県への意見書の提出を希望されるときは意見書(案)の添付もお願いします。

詳しくは、公式ホームページをご覧ください。議会事務局にお問い合わせください。合志庁舎 248-2038

全員野球！

来海 恵子 議員



来海 9月議会で、地域で防犯力を高めるために全家庭に学校の連絡票を配布したらと提案しましたが。

教育審議員 総務課と連携し、1月の中旬に配布予定で進めています。

来海 拾八町笹原線（陸上自衛隊北熊本自動車教習所の西側から笹原区の公民館前を通って、黒石原演習場に通じる市道）は、子どもたちの通行も多く、また、抜け道になっており車がスピードを出し危険で、一部で舗装されていない所もあります。道路部分も旧合志町以来30年以上打ち替えておらず、整備していただきたいのですが。

建設課長 歩道のない舗装の狭い部分については、舗装と未舗装部分に段差ができ水溜りができる状態なので、応急処置として砂利を敷き段差の解消を図りました。またまった規模の舗装の打ち替えについては、路面の傷み具合や各地区からの要望等を勘案して、本年度に市全体の道路舗装維持管理計画を策定し、順次舗装の打ち替えを行います。

来海 南ヶ丘小の通学路、通称永江

味千ラーメン交差点は児童の7割が通学し、最近空き地が住宅地に開発され、信号の位置も変わり歩道が狭く危険です。以前からスクランブル交差点にしてはと提案し、地元自治会からも要望が出ていますが。

総務課長 大津警察署から26年度内にスクランブル交差点化の工事を行うと連絡をいただいています。

来海 職員が約310人います。310人の目が通勤途上で子どもたちの危険な場面を目にすることがあると思います。自分の部署と関係なくとも、気づいたら連絡し改善する。職員全員が、安全安心の目になるという感覚を持ってほしいのですが。

市長 改めて、そういう感覚を持つように指示したいと思います。



通行量が多く危険な永江味千ラーメン交差点

空き家の適正管理

そしてまちづくりへの活用を！

濱口 正暁 議員



濱口 秋の臨時国会で「空き家対策特別措置法」が制定され、治安や防災、生活環境問題等への取り組みが進められることになった。さらに、「空き家をまちづくりに活用すること」も見えてきた。今後の進め方について伺う。

総務課長 国の基本方針が平成27年5～6月頃示されるので、それから市の計画策定、調査、協議会を立ち上げて進めることとなる。

商工振興課長 空き家の管理は所有者等になり、承諾を得た上で「クラッシュノコウシ」による空き家関連事業及び合志市商工会の「すまいアレコレこうしたい」等に情報提供を行って活用等に取り組みたい。



空き家活用実例—ほっかぼかすすかけ

市民の健康づくりは...

濱口 健康管理は自己管理が最も大事なことだが、市として指導・啓発している実態と今後の進め方は。

健康づくり推進課長 自分の健康状態を知るために、まず「特定健診受診」をして欲しい。そして、悪い部分の治療をせひして欲しい。悪化が進み入院となると、通院の15～20倍の治療費が掛かる。本人も大変だが国保の負担も大きくなり、皆さんの保険税の上昇にもなってしまう。今後、国から「データヘルス計画」策定の指示があり、平成27年度からレセプト点検のフォロー及び個別の勧奨や相談ということが重要になってくると思われる。

中学生の医療費補助の工程計画は！

濱口 右の工程計画の内容は
子育て支援課長 8月の事務事業検証会でも取り上げられ、小中学校工アコン導入の電気料金実績等を精査しながら検討を進めていきたい。

道徳教育では いじめは防止できない

今村 直登 議員



部活動等における安全対策は！

今村 フィギュアスケートの大会で、羽生選手が本番前の練習で他の選手と激突し負傷しながら大会に出場したことが、スポーツ医学会等から批判の声が挙がっている。体が発達途上にある小中学生だと深刻な事態になることが予想される。こうした場合の指導等はどうか。

教育審議員 事故発生時の対応マニュアルがある。まず児童生徒の安全確保が最優先です。事故発生時の状況確認を行い、担任、担当者、養護教諭、管理職が負傷の状況を判断し、安静にするのか、病院に搬送するのか、保護者に連絡するのかを判断し、軽症であってもしばらくは様子を見て、救急車を要請する場合は、保護者並びに関係機関に速やかに報告するようにしている。事故防止のための対策、緊急時の対応を適切に行い、児童生徒の安全確保に努めます。

道徳教育について

今村 滋賀県大津市でのいじめによ

る死亡事件を機にアツという間に道徳が教科となってきた。道徳の教科化でいじめは防止できるのか。

教育審議員 今回の道徳教育の改善に関する議論の発端となった「いじめ問題」の対応は、児童生徒の規範意識の低下した中でいじめ問題のよ

今村 安倍首相の教育再生の中身は、第1に大企業のために働くエリートづくり、第2に従順に働く労働者づくり、第3が戦争をするための人材育成であり、それを道徳教育という美名で隠している。そこを見抜いて子どもたちに教えるべきだ。
教育審議員 道徳教育を通じて、今後直面するであろうさまざまな事象に対し、対処できる力を育てなくてはならない。



中学3年生までの 医療費無料化を！

濱元 幸一郎 議員



濱元 菊池市、菊陽町、大津町も中学3年生までの医療費無料化を実施している。山鹿市は、高校3年生まで無料化を実施する。既に45自治体中35自治体で中学3年生まで、あるいはそれ以上の無料化を実施している。合志市は、子育て支援日本一を掲げているが、子どもの医療費無料化は遅れている。見解は。

子育て支援課長 子育て支援は、子ども医療費の無料化年齢を引き上げることだけではないと思っています。昨年度には、小中学校の普通教室全てにエアコンを導入し、その電気料金についても市が負担している。その他の子育て支援策の充実、子育て支援施策全体では充実していると考えている。

濱元 この間、合志市が子育て支援策の充実について努力していることは十分わかっている。しかし子どもの医療費無料化は、子どもたちの健康がかかっている。すでに小中学校にエアコンを設置しながら子どもの医療費無料化を引き上げている自治

体もある。市もただちに実施すべきだ。市の予算の0.1%でできる。今回の議会には、市民のみなさんの2千数百の署名とともに、「子ども医療費無料化拡大を求める請願」が提出された。多くの市民のみなさんが、無料化拡大を望んでおられる。この声を真剣に受け止め検討すべきだ。

市長 今回の議会に提出された請願については、真摯に受け止めさせていただきたい。前向きに、十分検討させていただきたい。



来年度は待機児童 解消できるのか？

坂本 早苗 議員



坂本 保育園の第1次募集が終わっている。来年度の見直しは。

子育て支援課長 592名の申込みに対し633名の定員数があり、数字上は待機児童が解消できる見込み。年齢ごとにとみると2歳児で若干不足が予測される。

坂本 今後の募集で2歳児はもっと不足する。0〜2歳児を対象とする小規模保育を活用してはどうか。

子育て支援課長 今後の状況を極めてながら対応していきたい。



単独校の学校給食を続ける方法はないのか？

坂本 学校敷地内で建て替えができないことが給食センター化の理由だが、敷地の確保が可能な学校もある。すべてを給食センターにしなくてもいいのではないのか。

学校教育課長 集約化を図り、効率的な運用を行うために給食センター化するので、一部の学校を残すこと

は考えにくい。

コミュニティ事業の拡充は？

坂本 防災・防犯、子育て、高齢者サポートなど地域づくりが求められている。コミュニティ事業を進める考えはあるのか。

市長 今までは自主的、自発的なことを考えていたが、一歩踏み込んで丁寧な説明をしていきたい。

予約型乗合タクシーの導入を！

坂本 レターバスの利用は増えているが、循環バス、乗り合いタクシーは利用が少ない。長洲町で成功している予約型乗合タクシーを導入してはどうか。

企画課長 長洲町は面積が狭く、本市では運行委託料が2倍、3倍かかる。今後御代志駅を中心とした公共交通に見直す必要があり、予約型乗合タクシーも研究していきたい。

坂本 バス停まで行くのが困難な人は今の公共交通は使えない。長洲町の金魚タクシーは玄関先まで来て、目的地まで送迎する。高齢社会にはこのシステムが有効。早期導入をお願いする。

地方創生について

松井美津子 議員



松井 まち、ひと、しごと創生法案と地域活性化に取り組む自治体独自のまちづくりを国が財政措置をとる「地域再生法改正案」が成立したが、本市における地方再生について何う。

政策課長 「住み良さランキング」では九州、沖縄でトップであり、このような評価を合志市のブランドイメージとして情報発信していくこともひとつの考え方だと思います。

市長 起業化をしやすくして起業家を支援しやすいまちをブランドとして定着することが戦略、イコール私の稼げる市の考えの原点である。

松井 本市には、我が国の服飾協会の最高峰に立ち、服飾教育の言動的存在として後継の育成に尽くされた原田茂さんがおられます。ファッション文化のまちづくりについて提案します。

政策課長 今後、ファッションの文化という部分についてまちづくりの中のひとつとして捉えることができればと思う。

松井 市民の皆様が日常生活の中で見つけたさまざまな問題個所をスマ

ートフォンの専用のアプリを活用してどこでも誰でも24時間、365日写真を担当課に知らせるシステムの運用を開始しては。

企画課長 市民と市が共同で問題解決を図ることは効果的な取り組みであるが、本市では各課等で十分な対応ができています。

松井 認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を地域で支える認知症サポーターの要請と認知症カフェの取り組みを何う。

高齢者支援課長 社会福祉協議会と連携して行い、約7,600人で8人に1人がサポーターの養成講座を受けている。2カ月に1回、ふれあい館でカフェ形式で、お茶菓子を取りながら家族の集いを行いました。



原田 茂さん
(合志町史より)

議員報酬の値上げ なぜ公聴会を開かないのか

神田 公司議員



神田 市長の合志市特別職報酬等審議会への諮問の内容は。

総務課長 議会議員の報酬等に関する事項。

神田 審議会の委員は、どのように選出されたのか。

総務課長 市内の公共的団体の代表者および住民代表10名。

神田 審議会では、議員報酬とは何か。議員報酬を決める上での基準、積算根拠はどのようなものなのかを審議すべきではなかったか。

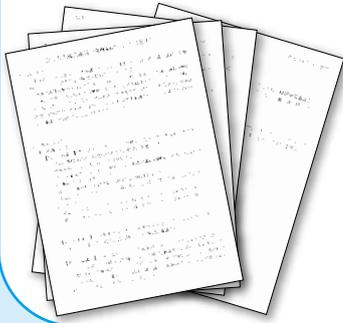
総務課長 報酬の積算根拠、そもそもの金額等の積算根拠等数字についての議論については、考えていなかった。

神田 議員報酬とはどういうものか、基準の議論を第三者機関である審議会に議論していた、だこうというものが議会の特別委員会の議論だった。議員定数削減を前提にした答申を受けた市長は、具体的な金額を提案した。公聴会や説明会を開くなり、市民の中の議論として出すべきだ。

市長 公聴会という考え方は、実は

なかった。そこまでは気が付かなかった。答申の中で、議員の定数に關して書いてあった。諮問してないことを答申としていたのだが、委員長と個別に話をしたときに、これは市民の代表の意見として重く受け止めてほしいということであった。ただ、その後、議員定数削減というのを提案されたことが、ちょうど時期が同じ時期になった。議員削減の話と報酬等の審議会での提案、答申とは別物。

神田 9月22日の答申は、9月議会の最中でのすごくタイミングがよかった。結果として議員報酬の大幅な引き上げだ。審議会の中では議員への聴取、あるいは市民に対する公の説明、その上でないと、果たしてそれが市民の代表としてまとめられたものなのかどうか非常に疑問。



稼げる市には 具体的な目標を

上田 欣也議員



上田 平成25年度一般会計決算で依存財源が6割、自主財源が4割。重点区域土地利用計画書の目指す用途規制が緩和されたとして、自主財源をどの程度まで増やしたいか。

政策課長 5割以上は安定した収入として必要と考える。

上田 何年で5割まで行けそうか。

政策課長 クリアすべきハードルが多く、不確実な部分があり、何年先ということの回答は控えたい。

上田 次期総合計画で、公共交通をどこに位置付けるつもりか。

企画課長 公共交通の施策については、交通の分野のみではなく、観光、健康、福祉、教育、環境などさまざまな分野から多角的な視線で見ても、まちづくりとの連携を施策の方針とする考えである。

上田 合志市立中学校の生徒数と自転車通学の割合は。

教育部長 合志中755人、自転車通学748人の99・07%をはじめ、全体で生徒数1,827人中、自転車通学が969人の53・04%である。

上田 自転車通学の高校生も多いと思う。重点区域土地利用計画書にもサイクルタウン構想がある。公共交通と並んで総合計画の中に組み込んではどうか。



通学中の中学生

政策課長 まちづくりの中で、公共交通の選択肢の一つとして今後出てくると思う。

上田 県の無らい県運動検証報告書の概要版ぐらい、市職員は宿題として読むべきではないか。

福祉課長 全職員に配布する部数はまだない。DVDは研修に生かす。

上田 菊池恵楓園の将来を考へるうえで、合志市としての責任の取り方があると思うが。

市長 入所者の皆様に寄り添うことは基礎自治体の責務である。

議員参加の主な行事



第9回子どもフェスティバル
10月19日(日)にヴィーブルで開催されました。
小・中学生の実行委員31人が、企画・準備から当日運営までを行い、約1,800人の参加がありました。



第8回文化祭
11月15・16日にヴィーブルで開催されました。
当日は、エアロビクスやバレエのステージイベントのほか、絵画や書道、陶芸や絵手紙、盆栽や生け花など各種作品展示がされました。



第9回人権フェスティバル
12月6日(土)にヴィーブルで開催され、約1,000人が参加しました。
西合志第一小学校などのステージや人権バンド「ゆうジーンズ」のライブがありました。



市消防出初式
1月11日(日)に合志小学校グラウンドで開催されました。
9年ぶりに16台のポンプ車での一斉放水が上庄堤にて行われました。468名の団員の参加がありました。



表紙のはなし

上庄のこくんぞさん。商売繁盛を願って毎年元日と1月13日の両日、地元消防団の皆さんが参拝客をおもてなししています。

議会の動き

(10月~12月)

【10月】

- 2~3日 健康福祉常任委員会行政視察研修
(直方市・春日市)
- 6~7日 議会広報調査特別委員会(福津市・神崎市)
21日 全員協議会
富山県砺波市議会より
「行政評価システムについて」視察研修
- 28日 愛知県清須市議会より
「自治基本条例について」視察研修
- 29日 広島県三次市議会より
「行政改革の取り組みについて」視察研修

【11月】

- 4日 議会広報調査特別委員会
- 11~12日 第256回熊本県市議会議長会(宇土市)
- 20日 全員協議会
- 25日 議会運営委員会

【12月】

- 2日 議会運営委員会
第4回(12月)定例会開会
全員協議会
- 8日 議会広報調査特別委員会
- 18日 第4回(12月)定例会閉会



平成27年第1回定例会日程(予定)

月	日	曜	会議名	主な内容
2	24	火	本会議	市長提出議案上程及び説明
3	2	月	本会議	質疑、委員会付託
	3	火	常任委員会	付託事件の審査
	4	水		
	5	木		
	6	金		
	10	火	本会議	一般質問
	11	水		
	12	木		
	16	月	本会議	委員会報告 (質疑、討論、表決) 議員提出議案 (上程、質疑、討論、表決)

※日程は、変更になる場合があります。

議会だよりに対するご意見は、合志市議会事務局へ
電話 096-248-1111(代表) 248-2038(直通)
Fax 096-248-2047 メールアドレス gikai@city.koshi.lg.jp

新成人に聞きました!

私たちの合志市

今日までそして明日から

成人式を前にした1月8日、式のリハーサルで集まった実行委員の皆さんにインタビューしました。全員、西合志南中学校の卒業生です。



市山愛海さん

《まず、合志市のどんなところが、良いと思いますか》

- ・田舎。といつても、何も無いわけではないので、ちょうどいい。
- ・都会過ぎないところ。
- ・家が多い。
- ・住みやすいというのは一番に言えると思う。

《合併したときのことを覚えていますか。小中学生のころの思い出などは

聞かせてください》

- ・知ってはいたけれど、小学生だったので、実感はわかかなかった。
- ・住所を書くとき簡単になった(笑)
- ・「こうし」ではなく、「ごうし」と濁って読まれたり、「西合志」は「ごうし」なのに、とか言われます。
- ここで、合志は、もともと「皮石」などと書かれていたことなどを説明しました。
- ・高校に入学しても、自宅から近いので、特に郡部から来たように感じませんでした。



坂本真一郎さん

- ・いま、学校にエアコンがついているんですか。いいなあ。扇風機がついて、ありがたかったことを覚えています。
- ・給食が食べてみたい。懐かしい。

《昨年の12月の衆議院選挙は初めての選挙だったと思いますが、どうでしたか》

- ・投票に行きました(全員)
- ・緊張しました。
- ・1票に責任を感じました。
- ・大人としての自覚が出ました。



大田謙也さん

《現在、合志市に住んでいて、日頃感じることはありますか》

- ・観光スポットがあればいい。
- ・近くの公園で、ブランコが撤去されて、ボール遊びも禁止されたところがあります。大人の理解が無くなってきたのかな。今の小学生は自由が減ったみたい。
- ・遊び場自体が減ったかも。



中村実沙紀さん

- ・終電がもう少し遅くまであるといいと思います。
- ・図書館はすごく便利です。
- ・熊本城マラソンみたいな、フルマラソンの大会があればいいと思う。
- ・須屋支所に行ったとき、どうしたらいいか分からなかったが、丁寧に教えてくれたので助かりました。
- ・まち全体が若い。
- ・ふるさと納税とかあるんですか。
- あります。合志市の特産品を贈呈します。

◇インタビューを終えて

合志市の未来を担う若者の意見を聞いてみようという初めての試みでした。紙面の都合で紹介しきれませんでした。夕方からの式典のリハーサル終了後お疲れのところ、快くご協力を頂いた上に、私たちも元気をもらいました。どうもありがとうございました。

祝成人 おめでとう!



大人になった責任を感じます



合志市民代表として
社会人としての自覚を持ちたい



立派な看護師になります



ありがとう、
みなさんのおかげです



立派な大人になります



議会広報調査 特別委員会

委員長 島田 敏春
副委員長 今村 直登
委員 上田 欣也
委員 後藤 修一
委員 松本 龍一
委員 西嶋 隆博

1月11日、成人式が行われました。会場へ行ってみると、今年成人を迎えた若者たちの熱気とキラキラした笑顔があふれていました。この若者たちが近い将来、どんな世の中をつくってくれるのか楽しみにしたいと思いました。今回は、この新成人の4名の方に話を聞くことができました(15ページ)。合志市については、生活するための環境がそろっていて住みやすい。都会過ぎず落ち着いた暮らしをもちたいという良い評価でした。それを裏付けるようなデータがあります。日本の790の市を対象とした調査「住みよさランキング」で、合志市は、全国で31位、九州では1位に選ばれています。これは生活する上での利便性や、下水道・公園等生活環境の整備、持家数の新規住宅の着工戸数、市の財政力、個人所得額等が高く評価されたためです。

しかし、住みよいまちづくりのため、ハード面を充実させることは重要ですが、それと同時にソフト面にも力を入れていかななくてはなりません。それは人と人とのつながりを強くし、親密な地域コミュニティを形成することです。家族や隣近所の人たちとの関係がうまくいって初めて幸せな生活を送っているといえるのだと思います。

「寒いね」と話しかければ、「寒いね」と答える人のいるあたたかさ」

私たちは、普通の生活にしっかりと目を向けて「住みよいまちづくり」に努めていきたいと思っています。

(松本龍一)

編集後記

